

# 音楽科学習指導案

学 級 : 3年1組 30人  
場 所 : 音 楽 室  
指導者 : 教諭 土橋あずさ

## 1 題材名 曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう（創作） （教材名 Let' s Create!）

### 2 題材の目標

- (1) 音素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴について、表したい思いや意図と関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 [知識及び技能]
- (2) 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 音素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。 「学びに向かう力、人間性等」

### 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 音素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴について、表したい思いや意図と関わらせて理解している。 ② 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。	① 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	① 音素材の特徴及び音の重なり方などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

### 4 指導と評価の計画

次	時 間	学 習 活 動	必要性	自律性	関係性	有用性	評価規準・評価方法等
1	1	1 音素材の特徴及び音の重なり方など構成上の特徴に関心をもち。	◎	○	○		[知識・技能] ① 観察 ・ 音素材の特徴及び、音の重なり方などの構成上の特徴について理解している。
		2 学習目標と全体の活動内容を確認し、自分の課題を設定する。	○	◎			[主体的に学習に取り組む態度] ① リフレクションシート ・ リズムアンサンブルに親しみ、学習の見通しをもって自分の課題を設定している。
	2 ・ 3	3 基本のリズムパターンを創作する。 4 基本のリズムパターンを使って、音の出し方や構成を工夫してリズムア	○ ○	○ ○	○ ◎	○	[知識・技能] ①② ワークシート・観察 ・ 音の重なりや構成に留意して、音を選択したり、組み合わせたりしている。 [思考・判断・表現] ① 観察

		ンサンプルを創作する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのあるリズムパターンを創作し、音の出し方や構成を工夫して組み合わせている。</li> </ul> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 観察・リフレクションシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動に楽しみながら、相互の考えや表現に興味をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>
4	本時	5 創作したリズムアンサンプルをグループで練り上げる。	○	○	◎	○	<p>[知識・技能] ①② 観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音の重なりや構成に留意して、音の選択や、組合せを試行錯誤して表現しようとしている。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ① 観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素を知覚し、表現したいリズムアンサンプルとして、構成や音の出し方を工夫している。</li> </ul> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 観察・リフレクションシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動を楽しみながら、相互の考えや表現に興味をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>
5		6 相互発表をする。 7 他のグループの演奏や自分たちの演奏の感想を発表する。 8 題材の振り返りをする。	◎	○	○	◎	<p>[知識・技能] ② 演奏発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創作したリズムアンサンプルの演奏に必要な技能を身に付け、創作で表している。</li> </ul> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① リフレクションシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムアンサンプルの活動の取組について振り返り、楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 5 本時の実際（4／5）

### (1) 学習目標

- グループで工夫する音楽の要素を知覚し、表したい思いや意図を明確にしてリズムアンサンプルを創作する。

### (2) 研究の取組

- 自分に合った課題設定と振り返りの充実【自律性】
  - ・ 課題解決に向けて自分がどのように近づくことができたか「ジリッチェ」を使って、リフレクションシートで振り返る。
- 音楽を形づくっている要素の働きの理解と、他者との協働の設定【関係性】
  - ・ 音の出し方の特徴や構成、音の重なり方、強弱、速度など音楽を形づくっている要素の働きと表したい思いや意図と関わらせて表現を工夫しようとしている。
  - ・ 思いや意図を共有し、どのように表現を工夫するとリズムアンサンプルのよさを生かせるか、同じグループの人と意見を交換したり、アイデアを出したりするなど試行錯誤して創作活動をする。

(3) 展開

過程	時間	形態	学 習 活 動	教師の手立て	「自律性」が示す十個の姿
導  入	3分	一斉	1 「ミッキーマウスマーチ」のリズムアンサンブルをする。	・ リズムアンサンブルの導入として2グループに分けて取り組ませる。	私は「計画する」 今日は、この活動でこのジリッチェが使えるかな。次回は発表だから、今日はここまでできるように活動しよう。
	5分	一斉 ↓ 班	2 本時の活動目標と流れを確認する。	・ リフレクションシートで活動を確認し、活動のポイントを押さえさせる。 ・ グループ内の本時の活動目標について話し合わせ、ロイロノートに記入させる。	
グループの目標を達成できるように、リズムアンサンブルの仕上げをしよう					
展  開	11分	班	3 前時のリズムアンサンブルをさらに練り上げる。 (1) グループ内で意見交換しながら、思いや意図に合うように見直す。	・ 音の出し方や構成について巡回しながら適宜アドバイスを送る。 ・ アンサンブルを考えたり、確かめたりする手段はグループで選ばせる（デジタル教科書を使うなど）。 ・ 質問をしたり、ヒントカードを見に行ったりするなど、必要に応じて、アクティブに動き回れるようにさせる。 ・ 早く終わっているグループは、実際に演奏させたり、表現の工夫について話し合わせたりする。	私は「考案する」 このリズムを目立たせたいから、簡単なリズムと組み合わせたら面白いかも。
	15分		(2) 表現の工夫に視点を置き、グループごとに活動する。	・ 音の出し方やリズムの特徴などを生かすための表現の工夫に視点を置いて、グループで試行錯誤させる。 ・ 音の出し方(手, 足, ひざなど)は適宜変更することも可能であることを伝える。	私は「考える」 「We will rock you」みたいに印象に残る音の出し方を考えてみよう。
	8分		(3) グループで演奏をし、課題をグループで共有する。	・ 最後に一度グループ内で演奏をし、次時の発表に向けて課題を出し合い、共有させる。	私は「試す」 この組合せと構成でいいか、デジタル教科書で試してみよう。
終  末	8分	班 ↓ 個	4 活動報告をロイロノートで送り、各自リフレクションシートで本時の活動の振り返りを行う。	・ 本時の活動について振り返りと本時の活動報告をロイロノートで作成させ、教師に送信させる。 ・ 各自、リフレクションシートで振り返りを行わせる。	私は「振り返る」 〇〇が課題になったから、本番前の練習では、〇〇してみよう。